

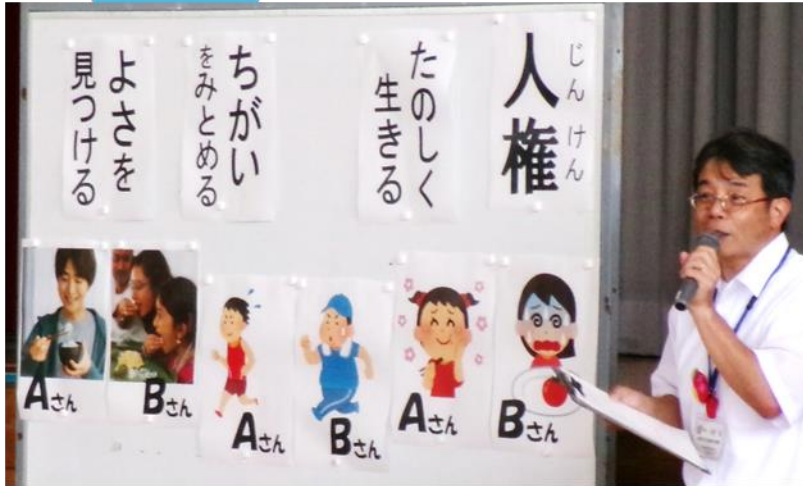


「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより

令和7年6月10日 No. 50

「ちがい」は「まちがい」ではありません。



今週は「なかよし週間」です。

月に一度の児童朝会では、「人権」について子どもたちにお話をしています。

人は「ちがい」を見つけると攻撃したくなるけれど、その「ちがい」は悪いことでないことが多い。「ちがい」は受け入れて、「いいところ」を探せる人になる方が安心できる学校生活になるよ、といったことを話しています。

お家でもぜひ話題にしてください。

「一人一人のちがいを受け入れられるものの見方が『人権』です」

「人権」とは何か説明できますか？

短い言葉で表してみると「楽しく生きるための権利」となります。

「楽しく生きる」ことを邪魔する行動は「いじわる」です。それが「いじめ」「差別」になります。

みんなは「いじめ」をする人になりたいですか？「差別」をする人になりたいですか？

そんな人になりたいわけがありません。それなのに、いじわるをすることは時々起こります。

なぜ起こるのでしょうか？具体的な例を挙げるので、一緒に考えてみましょう。

Aさんは、食べ物を好き嫌いしません。なのでよい子です

Bさんは、野菜の中でトマトが嫌いです。なので悪い子です。…この考え方、いいですか？

Aさんは、足が速いです。なのでよい子です。

Bさんは、足が遅いです。なので悪い子です。…この考え方、いいですか？

Aさんは、ごはんをはしで食べます。なのでよい子です。

Bさんたちは、ごはんを手で食べます。なので悪い子です。…この考え方、いいですか？

こういう間違ったものの見方は、「ちがい」についてよく分かっていなかったりそれを許さなかったりすると起こります。それは「いじめ」や「差別」をすることにつながっていきます。

では、そういう人にならないためには、どうしたらよいでしょう。

答えは、「ちがい」に対してやさしく受け入れること。逆に友達の「がんばり」や「よさ」を見つけていくということです。

一生懸命に勉強する人。一生懸命に掃除をする人。一生懸命に仕事する人。いっぱいいます！

みんなほめてあげられることです。見つけられそうですか？

ある6年生の子が「〇〇さんが、建物の裏の草抜きをしてたよ、めちゃくちゃきれいになってたよ」と教えてくれました。した人もそれを見つけて褒めた人もどっちもすばらしいですね。

「がんばり」や「よさ」を見つけられる人は、人権を大切にできる人なので「楽しく生きる」ことができるようになります。「ちがい」を受け入れ、「よさ」に目を向ける。みんなには「人権を大切にする人」になってもらいたいと思います。